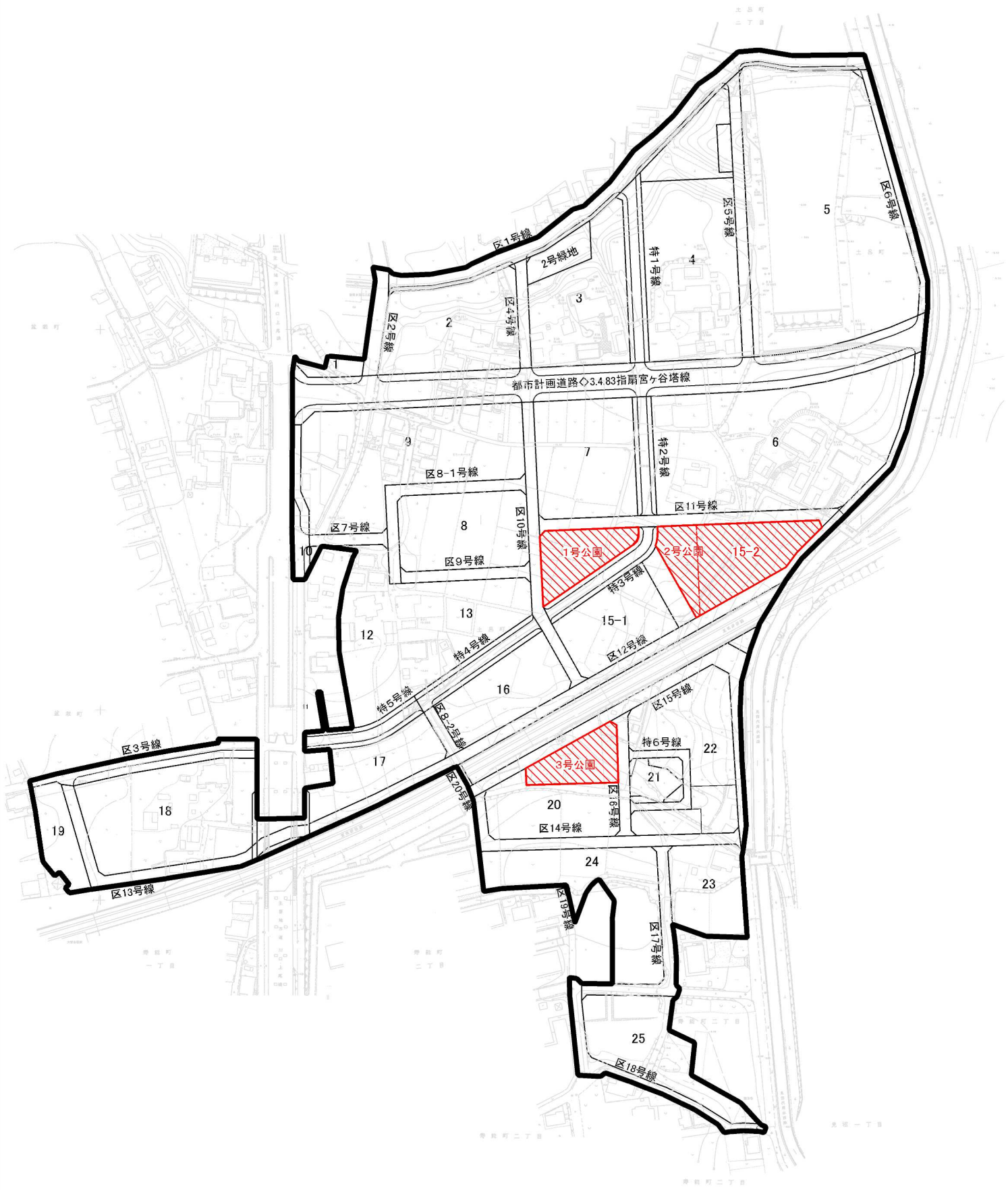


土呂農住特定土地区画整理事業 15-2街区外整地工事



特記仕様書一覧

(: 本工事において適用する。)

仕様書等	制定(改定)	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 追加特記仕様書	—	添付
<input checked="" type="checkbox"/> 土木工事特記仕様書	令和5年4月1日改定	ウェブ
<input type="checkbox"/> 舗装切断時に発生する排水の処理にかかる特記仕様書	令和7年4月1日改定	ウェブ
<input type="checkbox"/> 雨天時における安全管理に関する特記仕様書	平成31年4月1日改定	ウェブ
<input checked="" type="checkbox"/> 建設現場における「快適トイレ」設置 特記仕様書	令和6年4月1日改定	ウェブ
<input type="checkbox"/> 「さいたま市余裕期間設定試行工事」特記仕様書	令和2年12月17日制定	添付
<input checked="" type="checkbox"/> 道路上における作業時等の交通安全管理に関する特記仕様書	令和7年4月1日改定	添付
<input type="checkbox"/> ICT活用工事(土工)【発注者指定型】特記仕様書	令和7年10月1日改定	添付
<input type="checkbox"/> ICT活用工事(土工)【受注者希望型】特記仕様書	令和7年10月1日改定	添付
<input type="checkbox"/> ICT活用工事(作業土工(床掘工))特記仕様書	令和7年10月1日改定	添付
<input type="checkbox"/> ICT活用工事(舗装工)【発注者指定型】特記仕様書	令和7年10月1日改定	添付
<input type="checkbox"/> ICT活用工事(舗装工)【受注者希望型】特記仕様書	令和7年10月1日改定	添付
<input type="checkbox"/> ICT活用工事(舗装工(修繕工))特記仕様書	令和7年10月1日改定	添付
<input type="checkbox"/> ICT活用工事(地盤改良工)特記仕様書	令和7年10月1日改定	添付
<input type="checkbox"/>		

※ さいたま市ウェブページアドレスに掲載

事業者向けの情報>まちづくり・交通・建設>公共工事>さいたま市土木工事实務要覧
>さいたま市土木工事实務要覧（令和5年4月）>第2 仕様書編

- ・土木工事特記仕様書
- ・舗装版切断時に発生する排水の処理に係る特記仕様書
- ・雨天時における安全管理に関する特記仕様書

事業者向けの情報>まちづくり・交通・建設>公共工事>働き方改革に向けた制度・取組
・建設現場における「快適トイレ」設置 特記仕様書

※ 発注図書に添付

- ・追加持記仕様書
- ・道路上における作業時等の交通安全管理に関する特記仕様書

追加特記仕様書

工事名：土呂農住特定土地区画整理事業 15-2街区外整地工事

第1条 適用

1. 本工事においては、土木工事共通仕様書及び土木工事特記仕様書に定めるもののほか、この追加特記仕様書によるものとする。
2. 土木工事共通仕様書、土木工事特記仕様書及び追加特記仕様書の記載内容の優先については、追加特記仕様書、土木工事特記仕様書、土木工事共通仕様書の順によるものとする。

第2条 建設発生土の再資源化

建設発生土は、下記に示す条件により再資源化を図るものとする。

再資源化方法	施設の名称	所在地
石灰改良	(株)オザワ オザワ改良土プラント	さいたま市大宮区 天沼町2-1258

※上記は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

第3条 特定建設資材の分別解体等・再資源化等

本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、費用については契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

○分別解体等の方法

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

第4条 その他廃棄物の運搬先について

受注者は、下記の資材の使用に関し、再生資材を利用するものとする。

資材名	規格	備考
再生切込砕石	RC-40	裏込め材、基礎等

※工事で使用する資材のみを選択し表作成に使用。

第5条 建設キャリアアップシステム活用モデル工事の実施

本工事は、建設キャリアアップシステム活用モデル工事である。詳細は「さいたま市建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」を参照すること。

さいたま市ホームページ

トップページ>事業者向けの情報>まちづくり・交通・建設>公共工事

>働き方改革に向けた制度・取組

- ・さいたま市建設キャリアアップシステム活用モデル工事の試行について

第6条 ウィークリースタンスの実施

本工事は、ウィークリースタンスの対象工事である。詳細は「さいたま市ウィークリースタンス実施要領」を参照すること。

さいたま市ホームページ

トップページ>事業者向けの情報>まちづくり・交通・建設>公共工事

>働き方改革に向けた制度・取組

- ・さいたま市ウィークリースタンスの実施について

第7条 法定外の労災保険の付保

本工事においては、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第8条 ワンデーレスポンスの取組について

- 1 この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。
 - ・「ワンデーレスポンス」とは
受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのか受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。
- 2 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。
- 3 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。
- 4 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

第9条 週休2日の確保

本工事は、さいたま市週休2日制適用工事（現場閉所型）である。詳細は「さいたま市週休2日制適用工事」実施要領を参照すること。

さいたま市ホームページ

トップページ>事業者向けの情報>まちづくり・交通・建設>公共工事
>働き方改革に向けた制度・取組

- ・（R7.10月～）「さいたま市週休2日制適用工事《土木工事》」について

第10条 工期

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

① 準備期間	30日間
② 不稼働日 ※休日及び降雨・降雪日・猛暑日	12日間
③ 後片付け期間	20日間

著しい悪天候や気象状況（猛暑など）により、当初見込んでいる上記「③不稼働日」以上に作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長を協議することができる。

第11条 溶融スラグ入り改良土の取り扱いについて

埋戻し材として改良土を利用する場合は、原則「溶融スラグ入り改良土」を利用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合は、監督職員と協議の上、通常の石灰改良土を使用することができる。

また、溶融スラグ入り改良土の利用確認として、監督員から求められた場合には、改良土プラントからの出荷証明書等で溶融スラグ入り改良土を搬入したことがわかる書類を提示すること。

第12条 看板の設置

本工事における資材置き場を工事現場以外に別途設ける際は、工事件名、工事期間、施工者名、連絡先等を掲示した資材置き場看板を設置し、周辺住民に工事情報を提供すること。

第13条 人権尊重について

本工事の受注者は、工事を施工するにあたり、人権の尊重を基本とするとともに、人権に関する社員研修の実施等により、工事従事者が人権に配慮することができるよう努めること。

第14条 産業廃棄物情報の提供について

受注者は、産業廃棄物処理業者（収集運搬業者、中間処理業者等）から「廃棄物処理及び清掃に関する法律に基づく廃棄物情報（成分性状等）」を求められた場合、提供しなければならない。

なお、監督職員と協議の上、必要と認められる「廃棄物情報取得に係る経費」については、設計変更の対象とする。

第15条 現場における特記事項

1. 沿線住民及び通行者への周知を徹底し、騒音・振動等には十分注意すること。
2. 通行者には十分注意し、適切な誘導を図ること。
3. 粉塵対策を講じること。

第16条 施工計画等における特記事項

安全管理

- 1) 作業区域における安全管理については、作業区域内に通行車両・通行人が立ち入り、事故が起きることが無いよう現場状況を把握して安全管理を行う事。また、工事区域近隣の住民や関係者等へ十分な配慮（振動・騒音等）を行い本工事における作業調整を行いながら工事を進捗する事。
- 2) 作業中は安全確保のため、通行人・車両の誘導を行い、作業箇所における安全対策を行い作業する事。
- 3) 掘削作業を行う時は、事前に埋設関連事業者と連絡・調整・立会いの手続きをしてから行うものとし、作業時においても埋設管破損事故が無いよう安全に配慮した施工を行う事。

- 4) 掘削・揚重作業を行う時は、事前に埋設関連事業者と連絡・調整・立会いの手続きをしてから行うものとし、作業時においても埋設管破損事故・架空線との接触事故が無いよう安全に配慮した施工を行うこと。

第17条 設計条件における特記事項

本工事においては、以下の条件で積算を行っている。

- 1) 工事設計書、追加特記仕様書、数量計算書及び設計図面に記載の製品寸法・規格・重量は標準値であり、製品として同じ性能を有する場合はこの限りではない。
- 2) 3号公園は工事前に、公園部局と工事内容の協議を行う必要がある。協議によって、設計内容に変更が生じた場合は、協議の対象とする。

第18条 提出書類

土木工事共通仕様書に定められているものの他、下記のとおりとする。

- ・竣工図（DWG形式）
- ・設計変更に伴う数量、図面

道路上における作業時等の交通安全管理に関する特記仕様書

(趣旨)

第1条 本特記仕様書は、供用中の公共道路上で作業をする工事・委託（以下、「工事等」という。）における交通の安全について、必要な事項を定めるものとする。

(受注者の遵守事項)

第2条 対象となる工事等の受注者は、本特記仕様書に則り交通の安全について、監督職員、道路管理者及び所轄警察署等と協議を行いながら、現場条件等に応じた対応を計画及び実施し、作業時の安全対策に万全を期すこと。

(道路上における作業等の周知)

第3条 受注者は、作業に先立ち、「道路工事現場における標示施設等の設置基準」及び「道路工事現場における工事情報看板及び工事説明看板等の設置基準」に基づき、円滑な道路交通を確保するとともに周辺地域に対し周知を徹底する。

(交通安全管理)

第4条 供用中の公共道路上での作業を行うに当たり、受注者は、「道路工事保安施設設置基準」に基づき安全対策を計画し、監督職員、道路管理者及び所轄警察署等と協議をし、必要な対策を講じること。

また作業の開始前に作業関係者全員に対して、作業内容、保安施設の設置等について説明し、安全管理の内容について周知徹底を図ること。

(公衆災害の防止)

第5条 道路上での作業を行うに当たり、受注者は、当該工事等の関係者以外の第三者の生命、身体及び財産に関する危害並びに迷惑を防止するために、「建設工事公衆災害防止対策要綱（土木工事編）」に従い公衆災害の発生防止に万全を期さなければならない。

(災害時等の対応)

第6条 災害発生時においては、受注者は、第三者、作業員等の人命の安全確保をすべてに優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、直ちに監督員及び関係機関に通知しなければならない。

また事故が発生した場合には、受注者は直ちに監督職員等に連絡しなければならない。

本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費 [主たる工種] 公園工事 [施工地域区分] 一般交通影響有り(2)	式	1			
基盤整備	式	1			
敷地造成工	式	1			
掘削工	式	1			
掘削	式	1			第 1号内訳書
上砂等運搬	式	1			第 2号内訳書
盛土工	式	1			
路体(築堤)盛土	式	1			第 3号内訳書
残土処理工	式	1			
残土等処分	式	1			第 4号内訳書
擁壁工	式	1			
作業土工	式	1			
床掘り	式	1			第 5号内訳書

本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	単位	数量	単価	金額	摘要
裏込砕石	式				第 6号内訳書
		1			
プレキャスト擁壁工	式				
		1			
プレキャスト擁壁	式				第 7号内訳書
		1			
場所打擁壁工(構造物単位)	式				
		1			
小型擁壁	式				第 8号内訳書
		1			
仮設工	式				
		1			
交通管理工	式				
		1			
交通誘導警備員	式				第 9号内訳書
		1			
直接工事費計	式				
		1			
共通仮設費(率分)	式				
		1			
共通仮設費計	式				
		1			
純工事費	式				
		1			
現場管理費	式				
		1			

本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
工事価格	式	1			
消費税及び地方消費税相当額	式	1			
本工事費計	式	1			

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
掘削 (土砂, オープンカット, 無し, 無し, 5,000m3未満)	830	m3			第0001号 CB210100
合 計					

排出ガス対策、低騒音等の環境配慮型の機械は上記規格以上の機種とし、機械の諸元・出力や施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において定め施工すること（施工計画書等に機種を明記）

◆管理費区分凡例

- (1)現場管理費、一般管理費の対象 (2)工場管理費、一般管理費の対象 (5)一般管理費のみ対象
 (7)工場管理費、間接労務費、一般管理費の対象 (9)全間接費の対象外 (T)処分費などの対象
 (K2)現場管理費のみ対象 (K3)共通仮設費、現場管理費の対象

◆生コンクリート

水セメント比 (W/C) の表示がないものは、 $F_c = 18\text{N/mm}^2$ は $W/C \leq 60\%$ 、 $F_c \geq 21\text{N/mm}^2$ は $W/C \leq 55\%$ を標準とする。

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬 (標準, バックホウ山積0.8m ³ (平積0.6m ³), 土砂 (岩塊・玉石混り土含む); 有り, 5.0km以下)	530	m ³			第0002号 CB210110
合 計					

排出ガス対策、低騒音等の環境配慮型の機械は上記規格以上の機種とし、機械の諸元・出力や施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において定め施工すること（施工計画書等に機種を明記）

◆管理費区分凡例

- (1)現場管理費、一般管理費の対象 (2)工場管理費、一般管理費の対象 (5)一般管理費のみ対象
 (7)工場管理費、間接労務費、一般管理費の対象 (9)全間接費の対象外 (T)処分費などの対象
 (K2)現場管理費のみ対象 (K3)共通仮設費、現場管理費の対象

◆生コンクリート

水セメント比 (W/C) の表示がないものは、 $F_c=18N/mm^2$ は $W/C \leq 60\%$ 、 $F_c \geq 21N/mm^2$ は $W/C \leq 55\%$ を標準とする。

第 0003 号 内訳書
路体(築堤)盛土

1 式

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
路体(築堤)盛土 (4.0m以上, 20,000m3未満, 無し)	320	m3			第0003号 CB210510
盛土	280	m3			第0001号 S001
合 計					

排出ガス対策、低騒音等の環境配慮型の機械は上記規格以上の機種とし、機械の諸元・出力や施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において定め施工すること（施工計画書等に機種を明記）

◆管理費区分凡例

- (1)現場管理費、一般管理費の対象 (2)工場管理費、一般管理費の対象 (5)一般管理費のみ対象
(7)工場管理費、間接労務費、一般管理費の対象 (9)全間接費の対象外 (T)処分費などの対象
(K2)現場管理費のみ対象 (K3)共通仮設費、現場管理費の対象

◆生コンクリート

水セメント比 (W/C) の表示がないものは、 $F_c=18N/mm^2$ は $W/C \leq 60\%$ 、 $F_c \geq 21N/mm^2$ は $W/C \leq 55\%$ を標準とする。

第 0004 号 内訳書
残土等処分

1 式

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
建設発生土受入費（石灰） （第 1 ～ 第 3 種建設発生土）地山	530	(T) m ³			Z6497301
合 計					

排出ガス対策、低騒音等の環境配慮型の機械は上記規格以上の機種とし、機械の諸元・出力や施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において定め施工すること（施工計画書等に機種を明記）

◆管理費区分凡例

- (1)現場管理費、一般管理費の対象 (2)工場管理費、一般管理費の対象 (5)一般管理費のみ対象
(7)工場管理費、間接労務費、一般管理費の対象 (9)全間接費の対象外 (T)処分費などの対象
(K2)現場管理費のみ対象 (K3)共通仮設費、現場管理費の対象

◆生コンクリート

水セメント比 (W/C) の表示がないものは、 $F_c=18\text{N/mm}^2$ は $W/C\leq 60\%$ 、 $F_c\geq 21\text{N/mm}^2$ は $W/C\leq 55\%$ を標準とする。

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
床掘り (土砂, 上記以外 (小規模) , 全ての費用)	100	m3			第0004号 CB210030
合 計					

排出ガス対策、低騒音等の環境配慮型の機械は上記規格以上の機種とし、機械の諸元・出力や施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において定め施工すること（施工計画書等に機種を明記）

◆管理費区分凡例

- (1)現場管理費、一般管理費の対象 (2)工場管理費、一般管理費の対象 (5)一般管理費のみ対象
 (7)工場管理費、間接労務費、一般管理費の対象 (9)全間接費の対象外 (T)処分費などの対象
 (K2)現場管理費のみ対象 (K3)共通仮設費、現場管理費の対象

◆生コンクリート

水セメント比 (W/C) の表示がないものは、 $F_c = 18N/mm^2$ は $W/C \leq 60\%$ 、 $F_c \geq 21N/mm^2$ は $W/C \leq 55\%$ を標準とする。

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
裏込砕石 (再生クラッシュ 40~0, 全ての費用)	60	m3			第0005号 CB221120
合 計					

排出ガス対策、低騒音等の環境配慮型の機械は上記規格以上の機種とし、機械の諸元・出力や施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において定め施工すること（施工計画書等に機種を明記）

◆管理費区分凡例

- (1)現場管理費、一般管理費の対象 (2)工場管理費、一般管理費の対象 (5)一般管理費のみ対象
 (7)工場管理費、間接労務費、一般管理費の対象 (9)全間接費の対象外 (T)処分費などの対象
 (K2)現場管理費のみ対象 (K3)共通仮設費、現場管理費の対象

◆生コンクリート

水セメント比 (W/C) の表示がないものは、 $F_c = 18\text{N/mm}^2$ は $W/C \leq 60\%$ 、 $F_c \geq 21\text{N/mm}^2$ は $W/C \leq 55\%$ を標準とする。

第 0007 号 内訳書						
プレキャスト擁壁						
1 式						
名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要	
プレキャスト擁壁設置 (1.0mを超え2.0m以下, 有り, 有り)	50	m			第0006号 CB222110	
プレキャスト擁壁設置 (1.0mを超え2.0m以下, 有り, 有り)	6	m			第0007号 CB222110	
L形擁壁 H2000	1	式			第0002号 S002	
合 計						

排出ガス対策、低騒音等の環境配慮型の機械は上記規格以上の機種とし、機械の諸元・出力や施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において定め施工すること（施工計画書等に機種を明記）

◆管理費区分凡例
 (1)現場管理費、一般管理費の対象 (2)工場管理費、一般管理費の対象 (5)一般管理費のみ対象
 (7)工場管理費、間接労務費、一般管理費の対象 (9)全間接費の対象外 (T)処分費などの対象
 (K2)現場管理費のみ対象 (K3)共通仮設費、現場管理費の対象

◆生コンクリート
 水セメント比 (W/C) の表示がないものは、 $F_c=18N/mm^2$ は $W/C \leq 60\%$ 、 $F_c \geq 21N/mm^2$ は $W/C \leq 55\%$ を標準とする。

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
小型擁壁 (0.6m以上0.8m未満, 18-8-25 (高炉), 有り, 無し, 一般養生・特殊養生 (練炭))	0.3	m3			第0011号 CB226311
合 計					

排出ガス対策、低騒音等の環境配慮型の機械は上記規格以上の機種とし、機械の諸元・出力や施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において定め施工すること（施工計画書等に機種を明記）

◆管理費区分凡例

- (1)現場管理費、一般管理費の対象 (2)工場管理費、一般管理費の対象 (5)一般管理費のみ対象
 (7)工場管理費、間接労務費、一般管理費の対象 (9)全間接費の対象外 (T)処分費などの対象
 (K2)現場管理費のみ対象 (K3)共通仮設費、現場管理費の対象

◆生コンクリート

水セメント比 (W/C) の表示がないものは、 $F_c=18N/mm^2$ は $W/C \leq 60\%$ 、 $F_c \geq 21N/mm^2$ は $W/C \leq 55\%$ を標準とする。

第 0009 号 内訳書
交通誘導警備員

1 式

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員 B		人			R0804
合 計					

排出ガス対策、低騒音等の環境配慮型の機械は上記規格以上の機種とし、機械の諸元・出力や施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において定め施工すること（施工計画書等に機種を明記）

◆管理費区分凡例

- (1)現場管理費、一般管理費の対象 (2)工場管理費、一般管理費の対象 (5)一般管理費のみ対象
 (7)工場管理費、間接労務費、一般管理費の対象 (9)全間接費の対象外 (T)処分費などの対象
 (K2)現場管理費のみ対象 (K3)共通仮設費、現場管理費の対象

◆生コンクリート

水セメント比 (W/C) の表示がないものは、 $F_c = 18N/mm^2$ は $W/C \leq 60\%$ 、 $F_c \geq 21N/mm^2$ は $W/C \leq 55\%$ を標準とする。

第 0001 号 代価表

(S001)

10 m3 当り

盛土

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
路体（築堤）盛土 (4.0m以上, 20,000m3未満, 無し)	10	m3			第0003号 CB210510
粘性土 土羽用土（赤土等）	14.4	m 3			Z6303101
合 計					
	1	m3			

排出ガス対策、低騒音等の環境配慮型の機械は上記規格以上の機種とし、機械の諸元・出力や施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において定め施工すること（施工計画書等に機種を明記）

◆管理費区分凡例

(1)現場管理費、一般管理費の対象 (2)工場管理費、一般管理費の対象 (5)一般管理費のみ対象

(7)工場管理費、間接労務費、一般管理費の対象 (9)全間接費の対象外 (T)処分費などの対象

(K2)現場管理費のみ対象 (K3)共通仮設費、現場管理費の対象

◆生コンクリート

水セメント比 (W/C) の表示がないものは、 $F_c=18\text{N/mm}^2$ は $W/C\leq 60\%$ 、 $F_c\geq 21\text{N/mm}^2$ は $W/C\leq 55\%$ を標準とする。

第 0002 号 代価表

(S002)

1 式 当り

L形擁壁 H2000

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
プレキャスト擁壁設置 H2000×L2000 (1.0mを超え2.0m以下, 無し, 有り)	6	m			第0008号 CB222110
プレキャスト擁壁設置 H2000×L1940 (1.0mを超え2.0m以下, 無し, 有り)	2	m			第0009号 CB222110
基礎碎石 t=25.0cm (22.5cmを超え27.5cm以下, 再生フラッシュラン 40~0, 全ての費用)	12.8	m ²			第0010号 CB222110
合 計					
	1	式			

排出ガス対策、低騒音等の環境配慮型の機械は上記規格以上の機種とし、機械の諸元・出力や施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において定め施工すること（施工計画書等に機種を明記）

◆管理費区分凡例

- (1)現場管理費、一般管理費の対象 (2)工場管理費、一般管理費の対象 (5)一般管理費のみ対象
 (7)工場管理費、間接労務費、一般管理費の対象 (9)全間接費の対象外 (T)処分費などの対象
 (K2)現場管理費のみ対象 (K3)共通仮設費、現場管理費の対象

◆生コンクリート

水セメント比 (W/C) の表示がないものは、 $F_c=18\text{N/mm}^2$ は $W/C\leq 60\%$ 、 $F_c\geq 21\text{N/mm}^2$ は $W/C\leq 55\%$ を標準とする。

土呂農住特定土地区画整理事業
15-2街区外整地工事

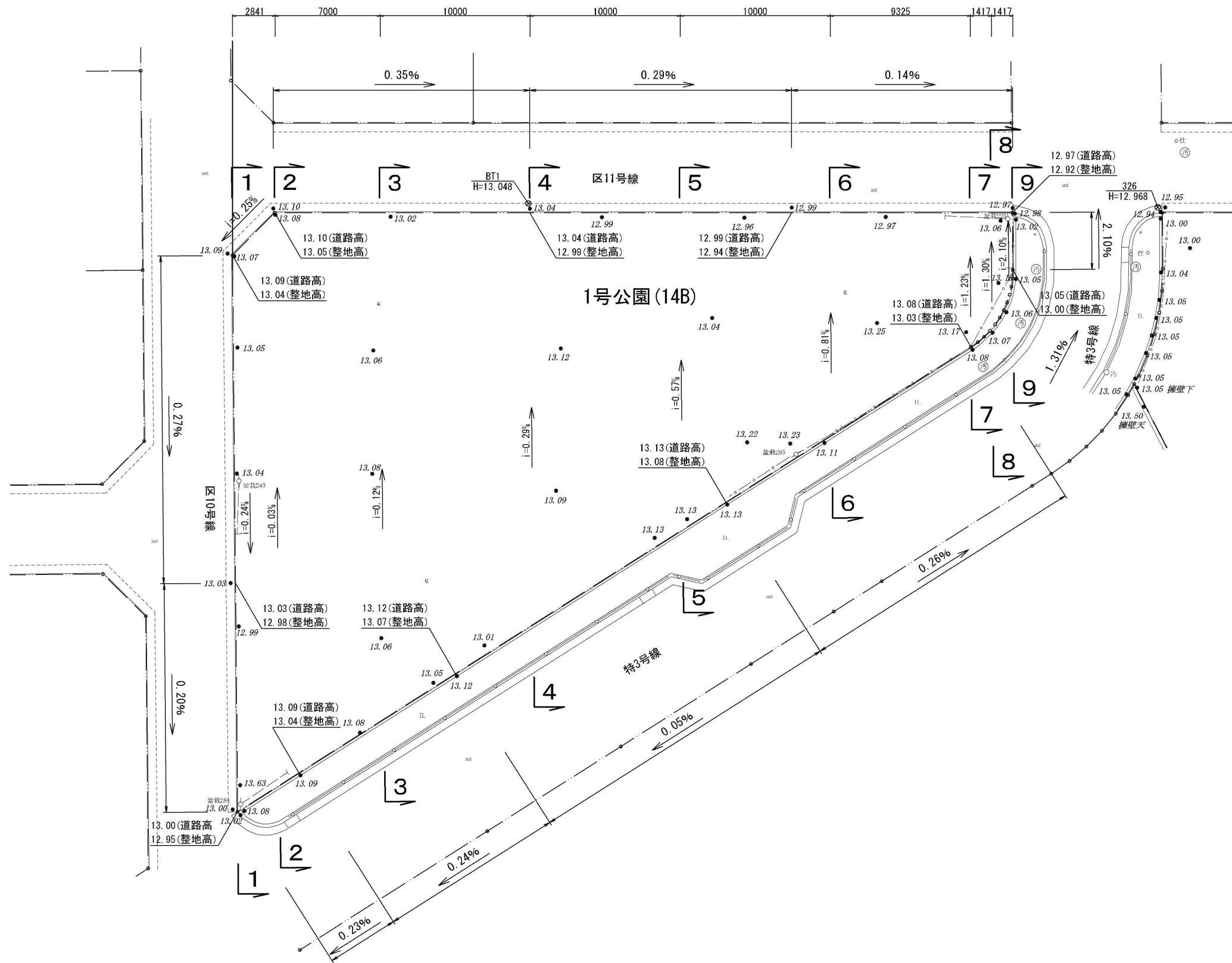
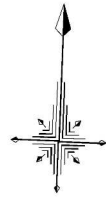
数量計算書

さいたま市土呂農住特定土地区画整理組合

数量総括表

工種区分	工種	種別	細別	規格	単位	1号公園	2号公園 15-2街区	3号公園	設計 数量	積算 数量	備考
敷地造成工											
	敷地造成工	掘削工	掘削	土砂 ノンプラント 5,000m ³ 未満	m ³	532.5	297.2		829.7	830	
			土砂等運搬	土砂 標準 バックホウ0.8m ³ DID有 L≤5.0km	m ³	532.5			532.5	530	
		盛土工	路体(築堤)盛土	発生土 W=4.0m以上 20,000m ³ 未満	m ³		319.3		319.3	320	
				購入土(赤土)	m ³		275.8		275.8	280	
				購入土 W=4.0m以上 20,000m ³ 未満	m ³						
		残土処理工	残土等処分	建設発生土受入費(石灰)	m ³				532.5	530	
	擁壁工	作業土工	床掘り	土砂 小規模	m ³		57.6	37.9	95.5	100	
			裏込砕石	RC-40	m ³		43.5	14.9	58.4	60	
		プレキャスト擁壁工	プレキャスト擁壁	L形擁壁 1500×2000	m		2.0	48.0	50.0	50	
				L形擁壁 1800×2000	m		6.0		6.0	6	
				L形擁壁 2000×2000	m		6.0		6.0	6	
				L形擁壁 2000×1940	m		2.0		2.0	2	
			小型擁壁	0.6m≤H<0.8m	m ³		0.3		0.3	0.3	
	仮設工	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員B 式	式				1	1	

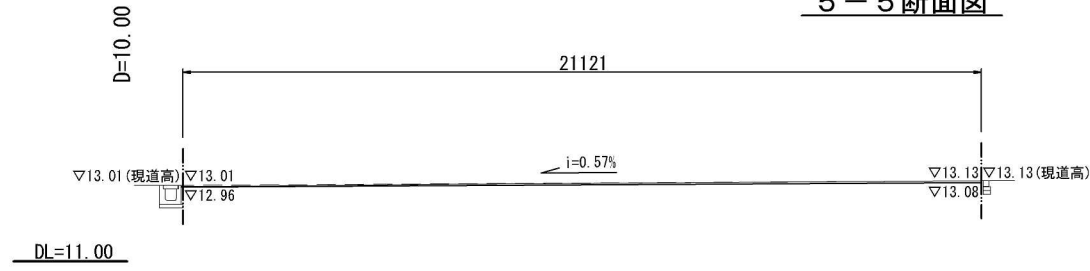
1号公園 造成平面図 S=1:150



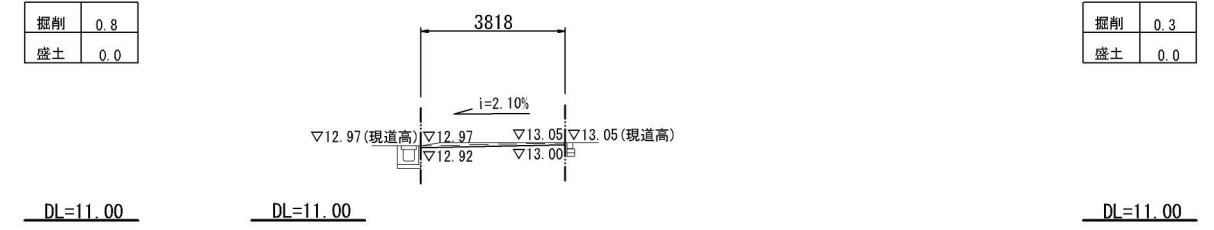
工事名	土呂農住特定土地区画整理事業 15-2街区外整地工事		
工事箇所	さいたま市北区土呂町地内外		
図面名	1号公園 造成平面図		
縮尺	1:150	図面番号	1
さいたま市土呂農住特定土地区画整理組合			

1号公園 造成断面図 S=1:100

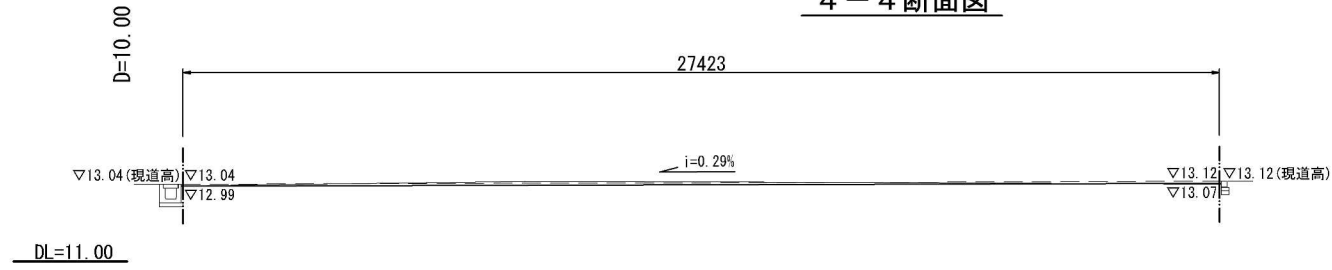
5-5 断面図



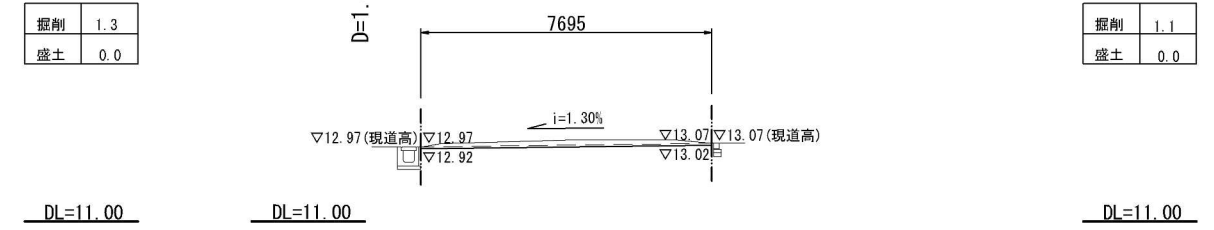
9-9 断面図



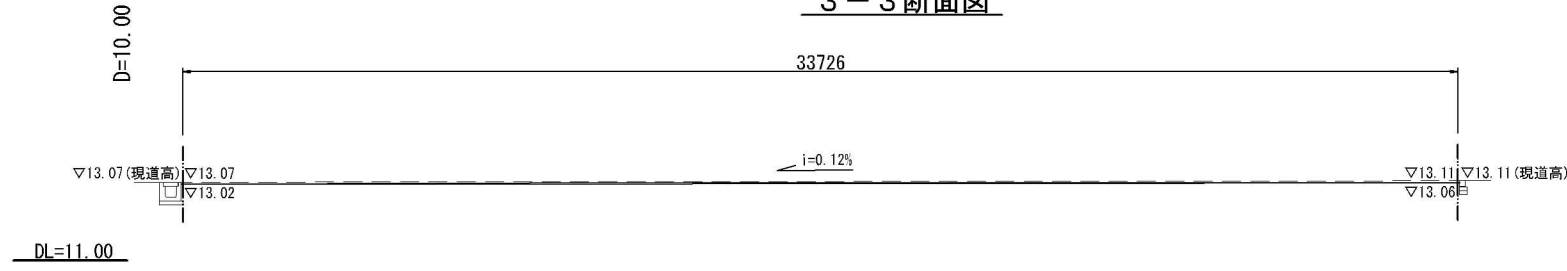
4-4 断面図



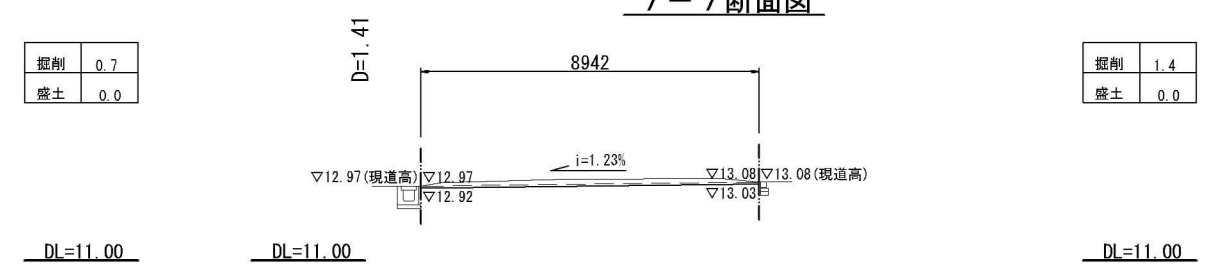
8-8 断面図



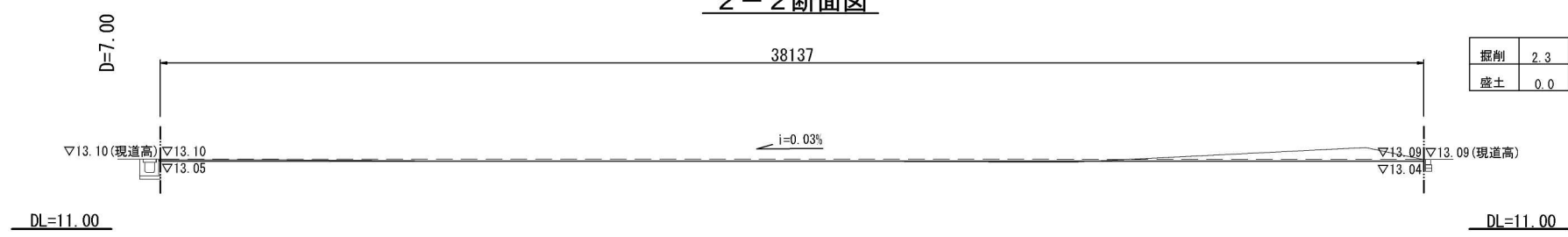
3-3 断面図



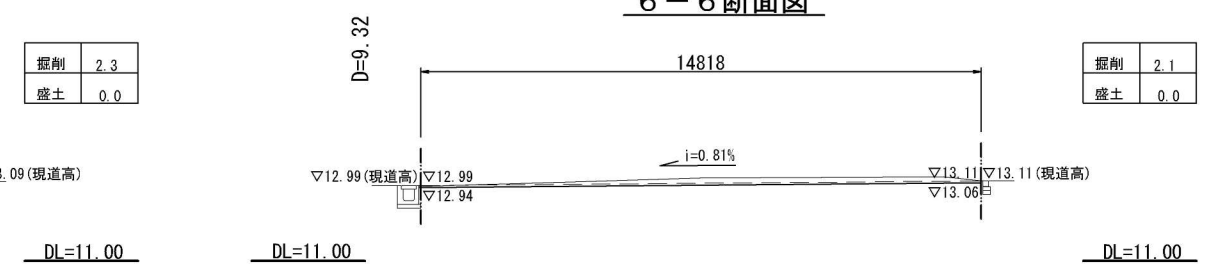
7-7 断面図



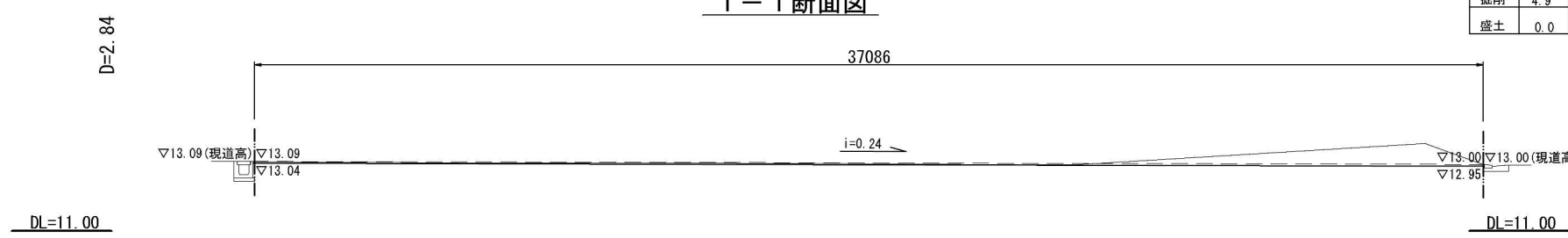
2-2 断面図



6-6 断面図



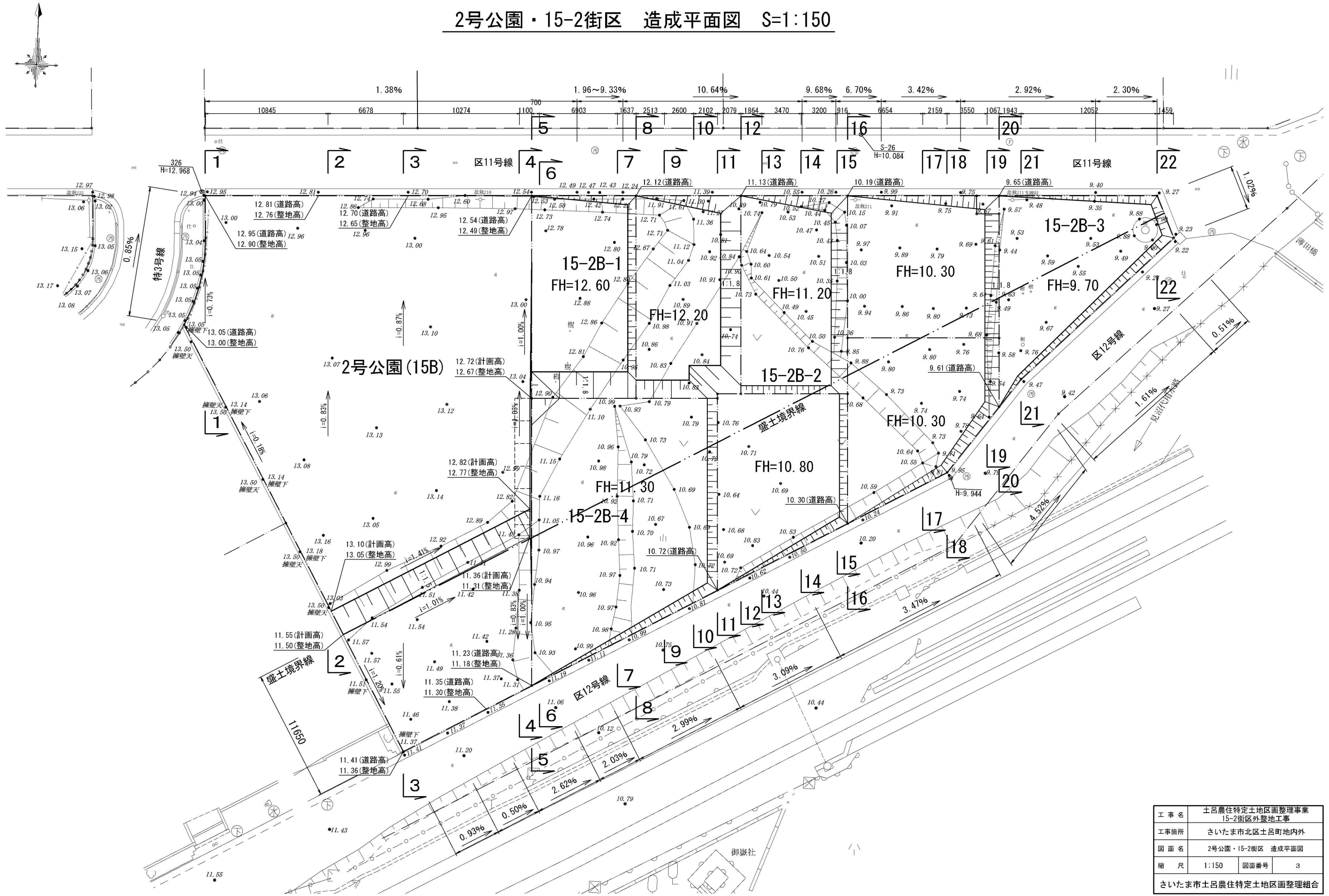
1-1 断面図



凡例
 - - - : 計画高(公園工事)
 ——— : 整地高(今回工事)

工事名	土呂農住特定土地区画整理事業 15-2街区外整地工事		
工事箇所	さいたま市北区土呂町地内外		
図面名	1号公園 造成断面図		
縮尺	1:100	図面番号	2
さいたま市土呂農住特定土地区画整理組合			

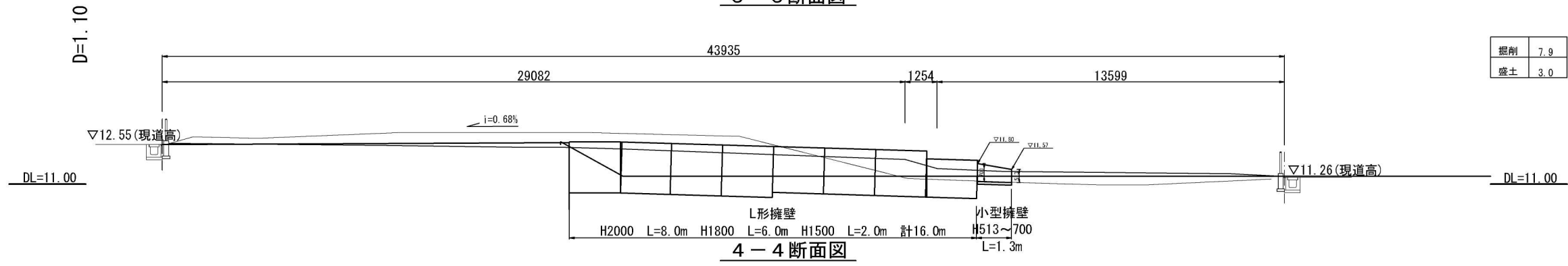
2号公園・15-2街区 造成平面図 S=1:150



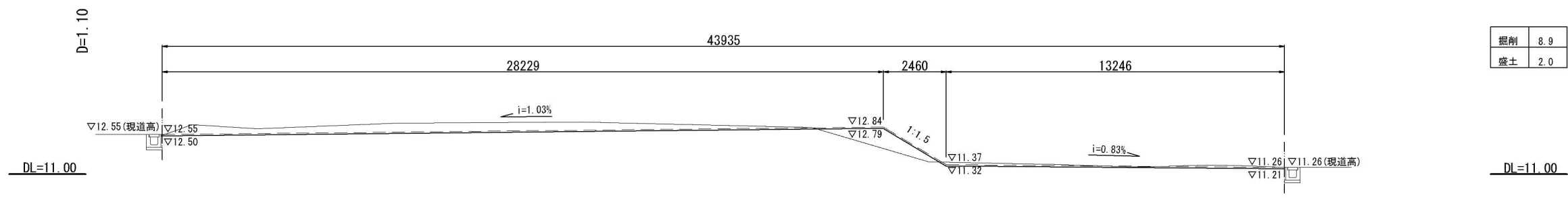
工事名	土呂農住特定土地区画整理事業 15-2街区外整地工事
工事箇所	さいたま市北区土呂町地内外
図面名	2号公園・15-2街区 造成平面図
縮尺	1:150 図面番号 3
さいたま市土呂農住特定土地区画整理組合	

2号公園・15-2街区 造成断面図1/4 S=1:100

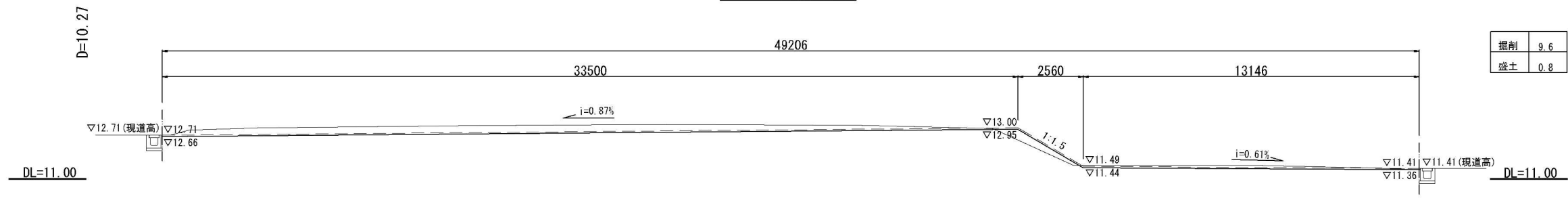
5-5断面図



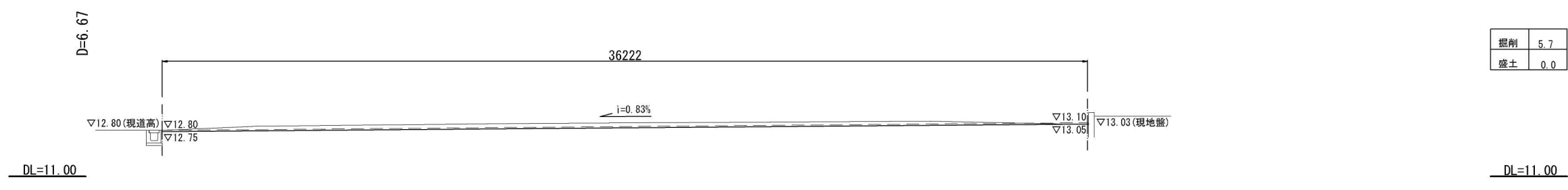
4-4断面図



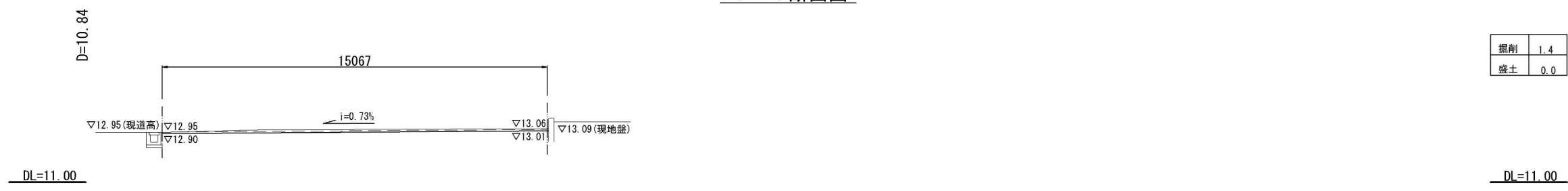
3-3断面図



2-2断面図



1-1断面図

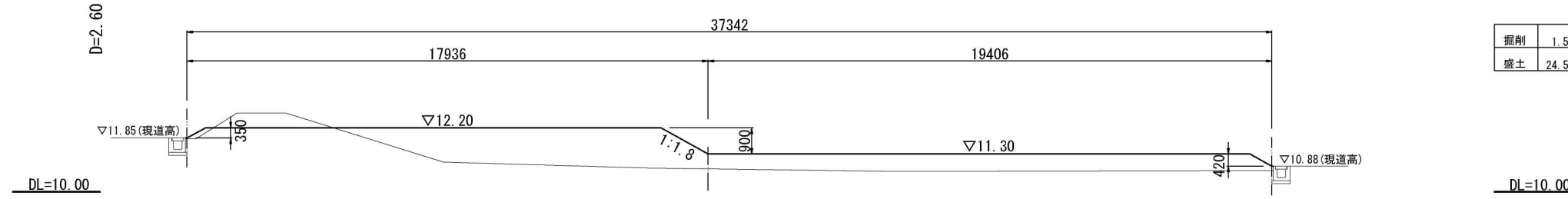


凡例
 - - - - : 計画高(公園工事)
 ———— : 整地高(今回工事)

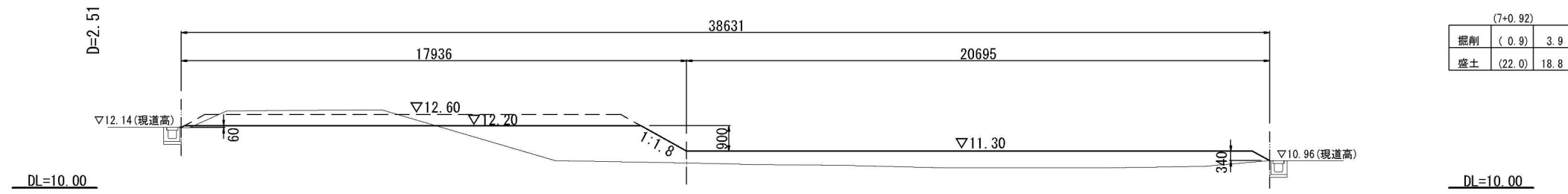
工事名	土呂農住特定土地区画整理事業 15-2街区外整地工事		
工事箇所	さいたま市北区土呂町地内外		
図面名	2号公園・15-2街区 造成断面図1/4		
縮尺	1:100	図面番号	4
さいたま市土呂農住特定土地区画整理組合			

2号公園・15-2街区 造成断面図2/4 S=1:100

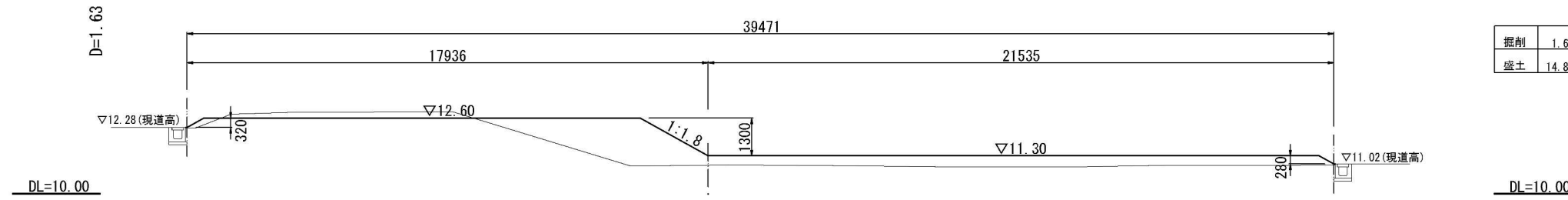
9-9断面図



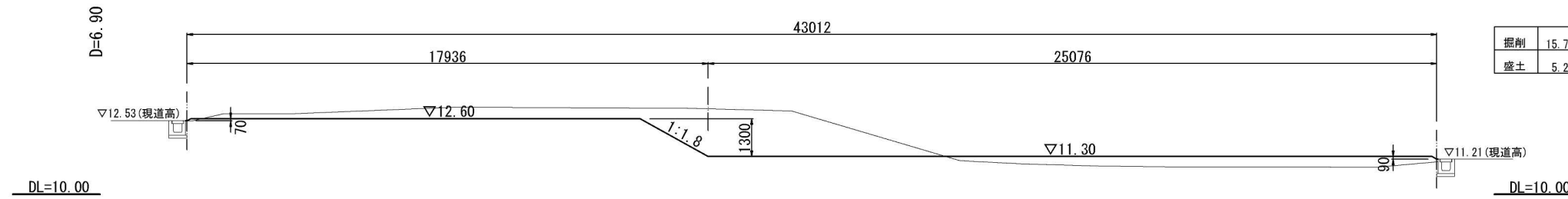
8-8断面図



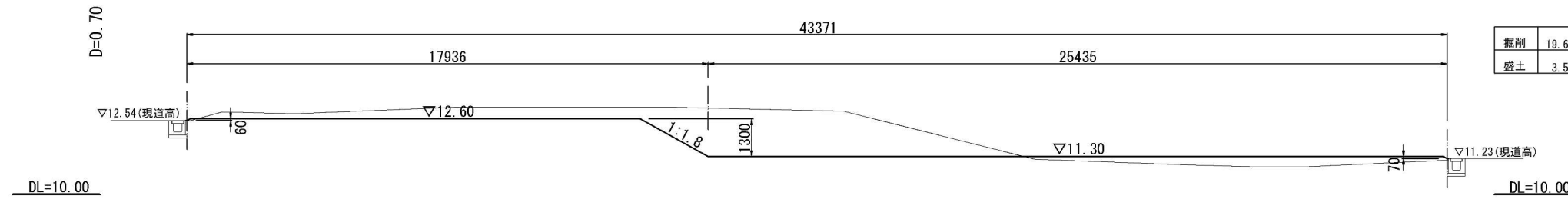
7-7断面図



6-6断面図



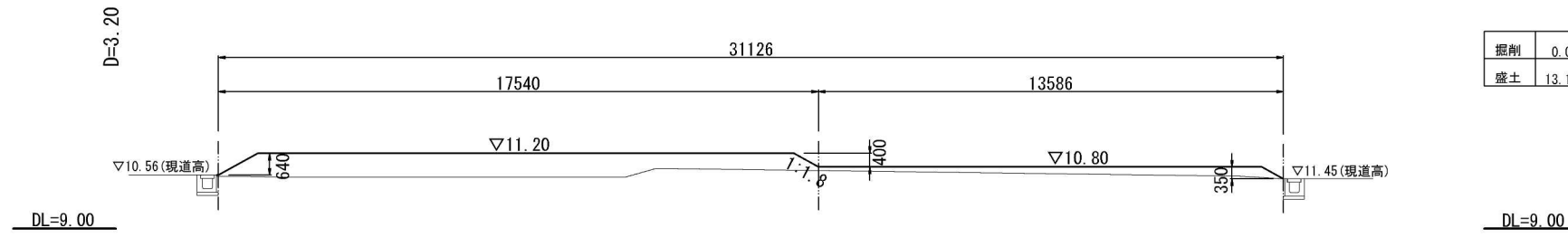
5-5断面図



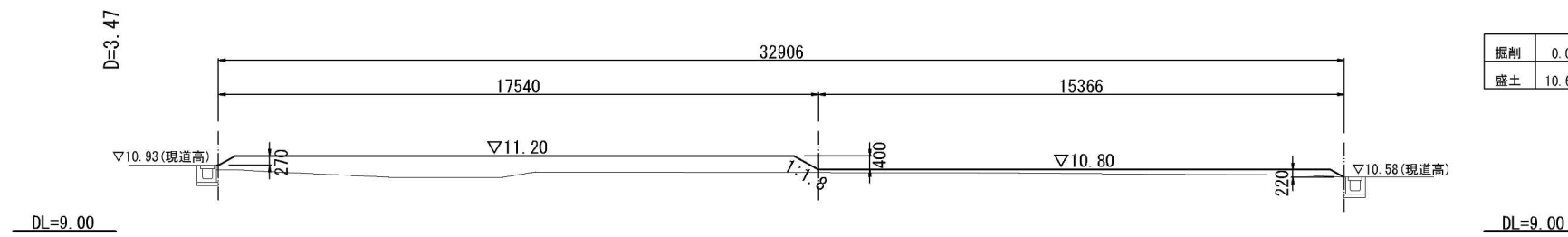
工事名	土呂農住特定土地区画整理事業 15-2街区外整地工事		
工事箇所	さいたま市北区土呂町地内外		
図面名	2号公園・15-2街区 造成断面図2/4		
縮尺	1:100	図面番号	5
さいたま市土呂農住特定土地区画整理組合			

2号公園・15-2街区 造成断面図3/4 S=1:100

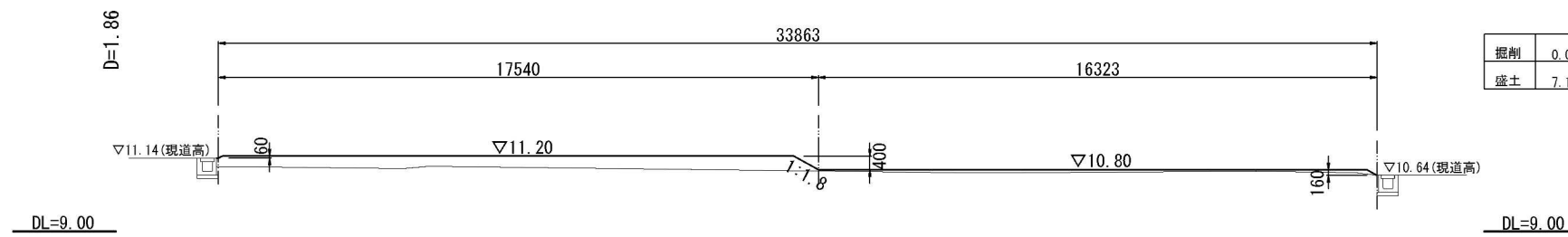
14-14断面図



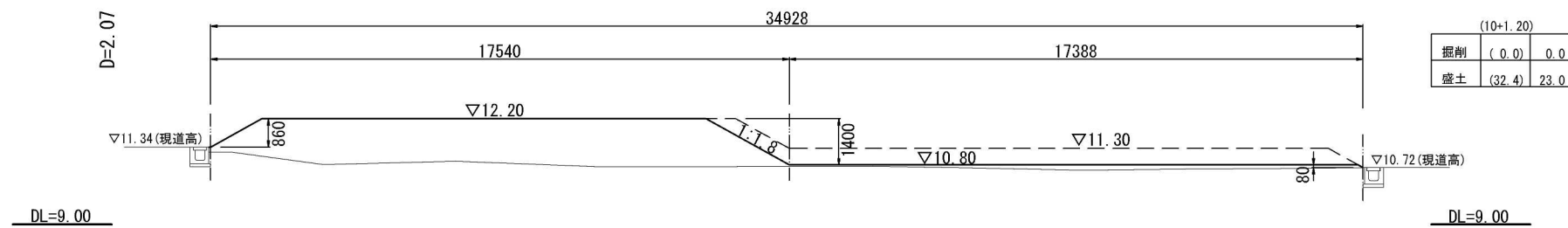
13-13断面図



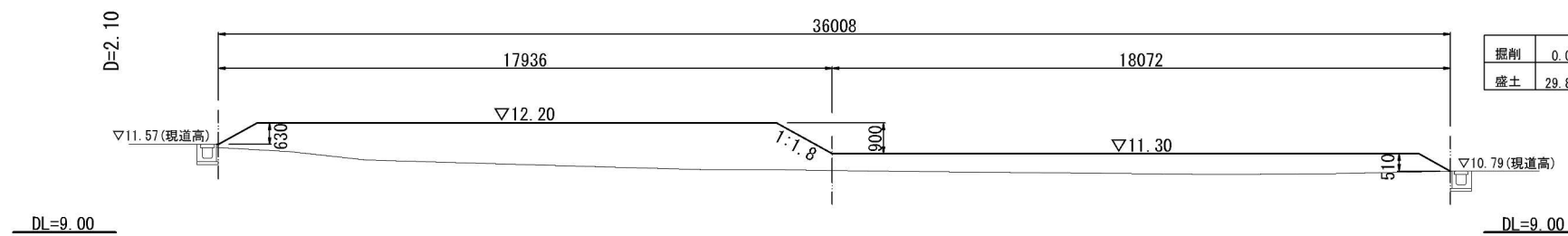
12-12断面図



11-11断面図



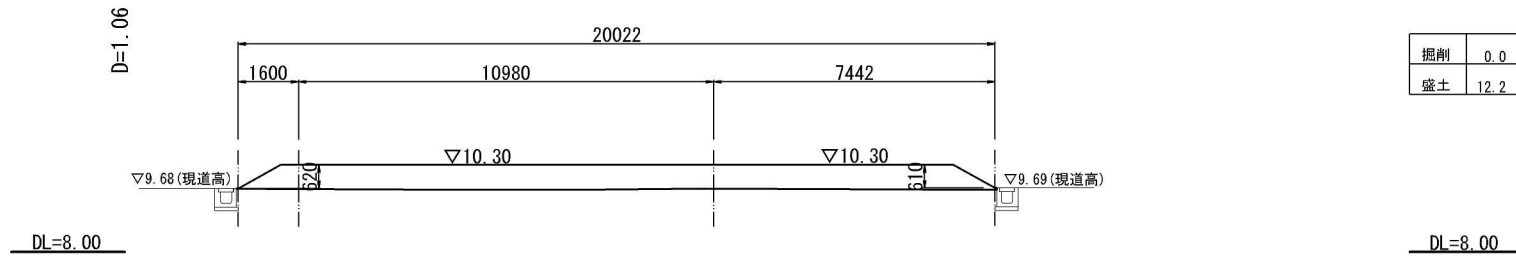
10-10断面図



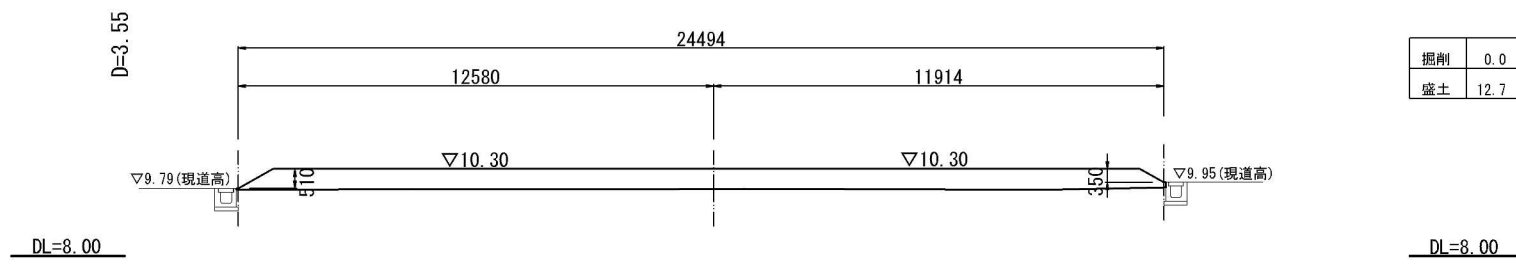
工事名	土呂農住特定土地区画整理事業 15-2街区外整地工事		
工事箇所	さいたま市北区土呂町地内外		
図面名	2号公園・15-2街区 造成断面図3/4		
縮尺	1:100	図面番号	6
さいたま市土呂農住特定土地区画整理組合			

2号公園・15-2街区 造成断面図4/4 S=1:100

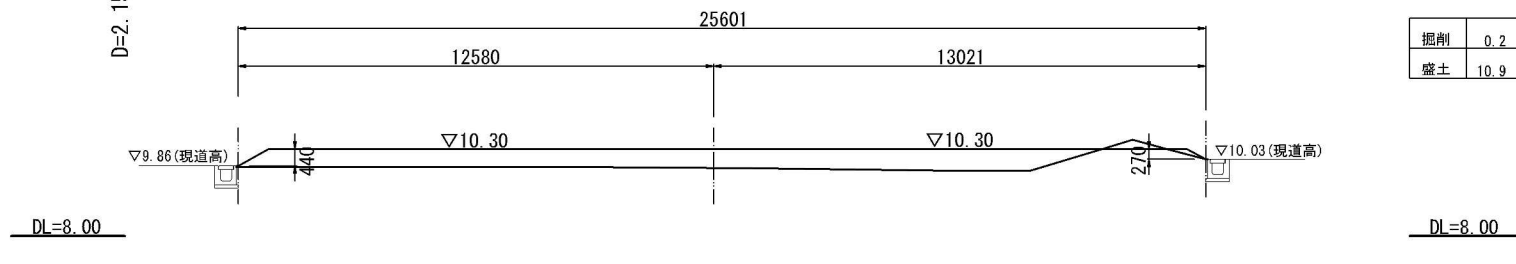
19-19断面図



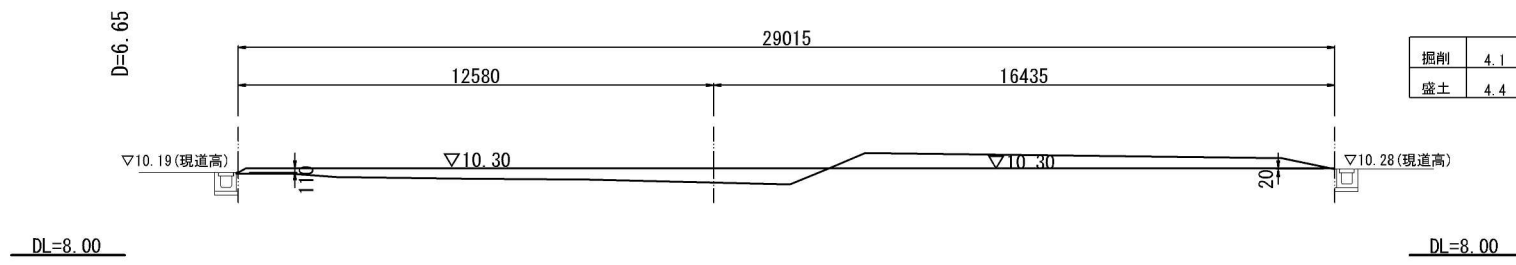
18-18断面図



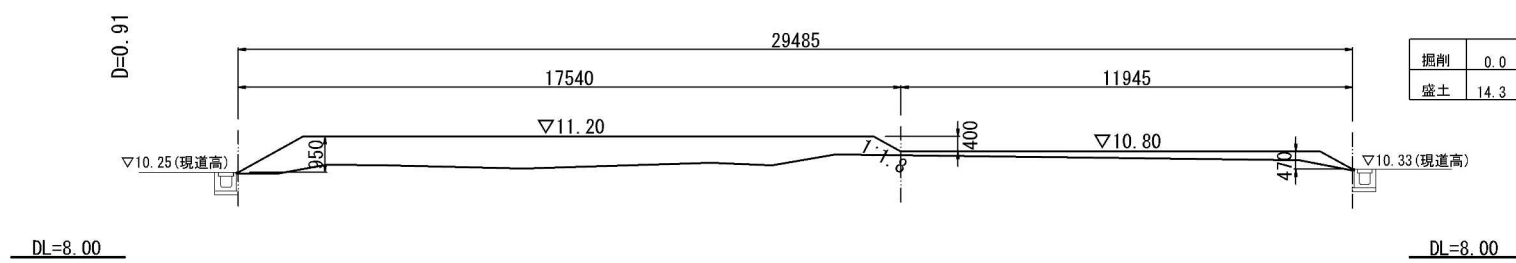
17-17断面図



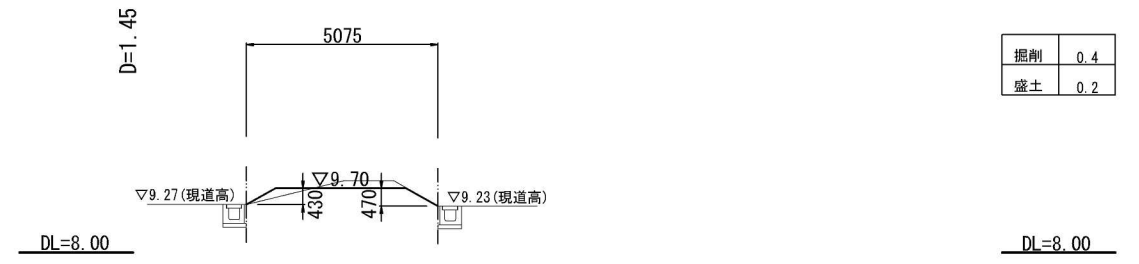
16-16断面図



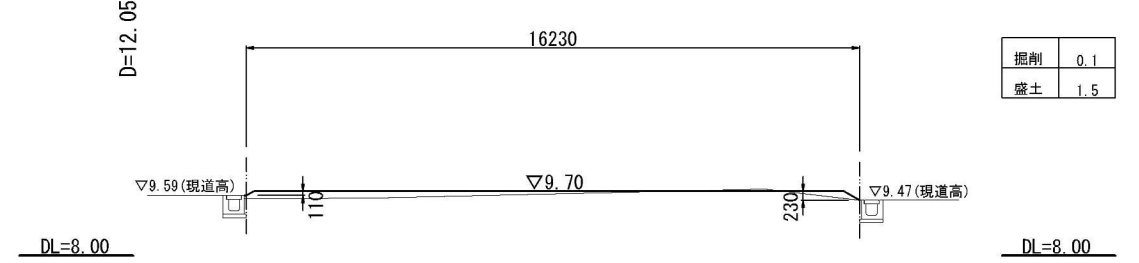
15-15断面図



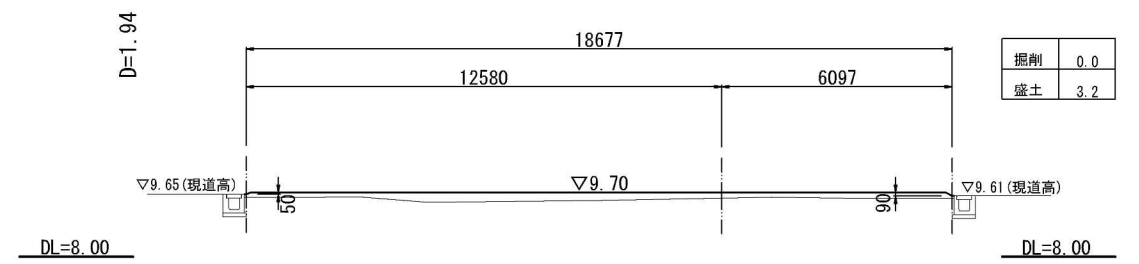
22-22断面図



21-21断面図



20-20断面図

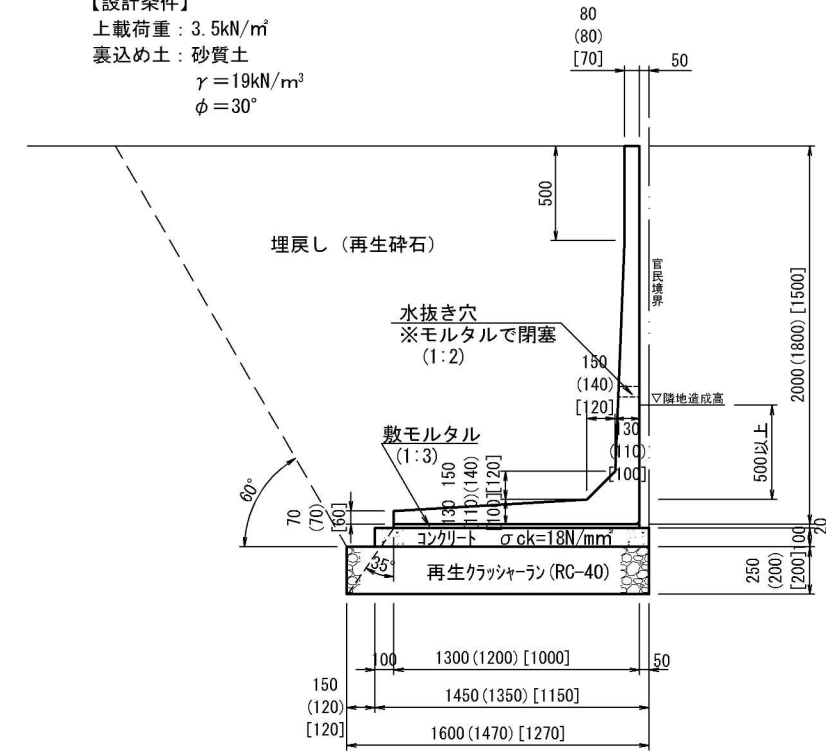


工事名	土呂農住特定土地区画整理事業 15-2街区外整地工事		
工事箇所	さいたま市北区土呂町地内外		
図面名	2号公園・15-2街区 造成断面図4/4		
縮尺	1:100	図面番号	7
さいたま市土呂農住特定土地区画整理組合			

2号公園 擁壁構造図

L形擁壁構造図 S=1:20

【設計条件】
 上載荷重 : 3.5kN/m²
 裏込め土 : 砂質土
 $\gamma = 19\text{kN/m}^3$
 $\phi = 30^\circ$



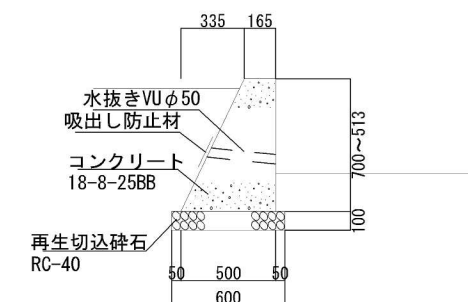
※寸法値は、H=2000 (H=1800) [H1500]

寸法表 (単位 mm)

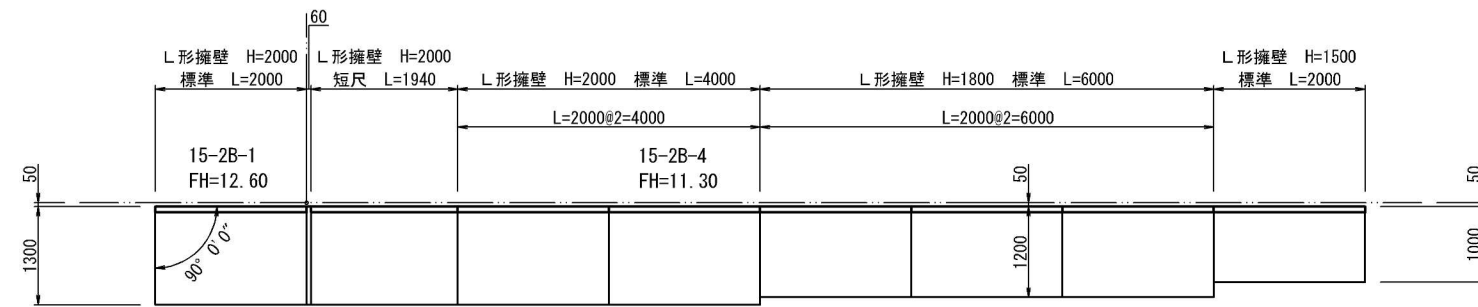
呼び名	寸法	規格	H	L
H1500×2000	標準	標準	1500	2000
H1800×2000	標準	標準	1800	2000
H2000×1940	短尺	短尺	2000	1940
H2000×2000	標準	標準	2000	2000

小型擁壁 S=1:20

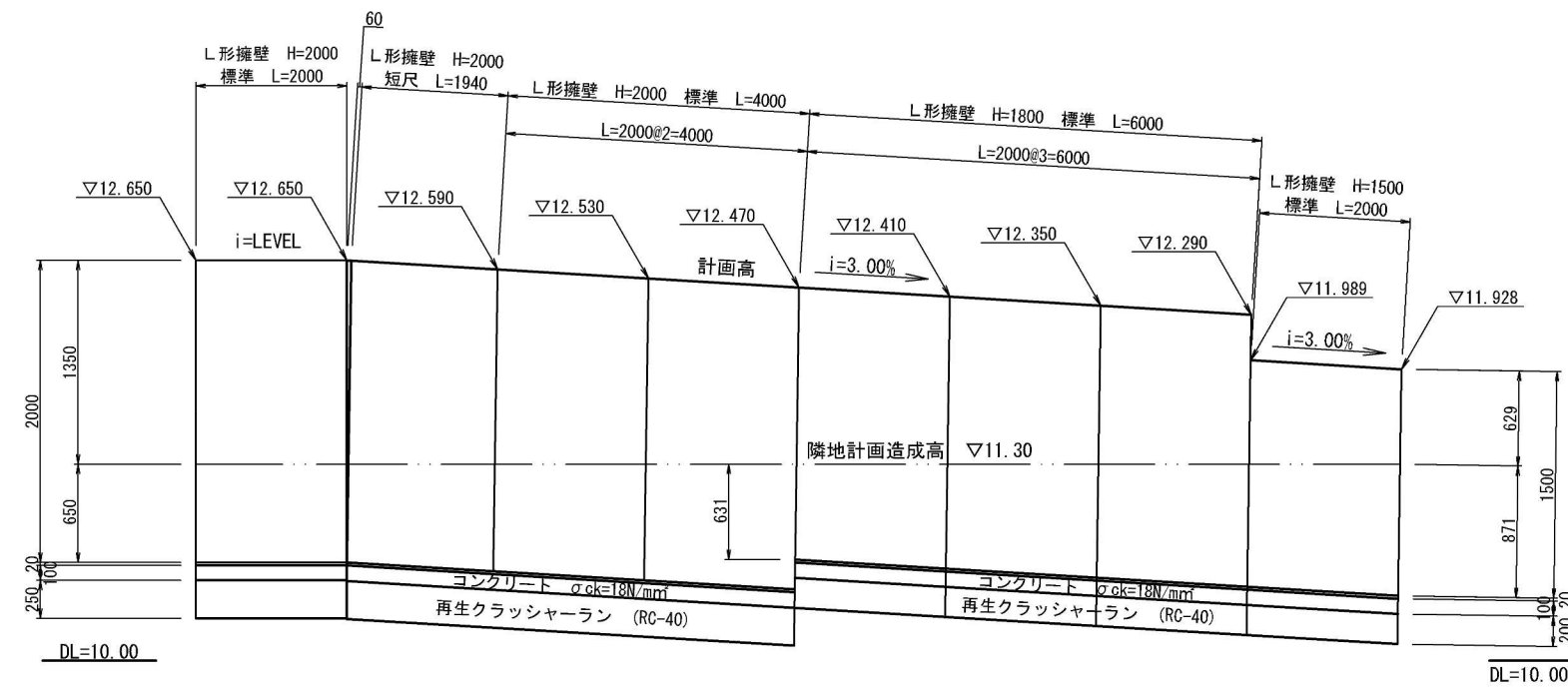
※伸縮目地(瀝青質目地板20mm)を10m毎に設けること。
 ※水抜きは擁壁前面の壁面2.0㎡毎に設けること。



擁壁計画平面図 S=1:50

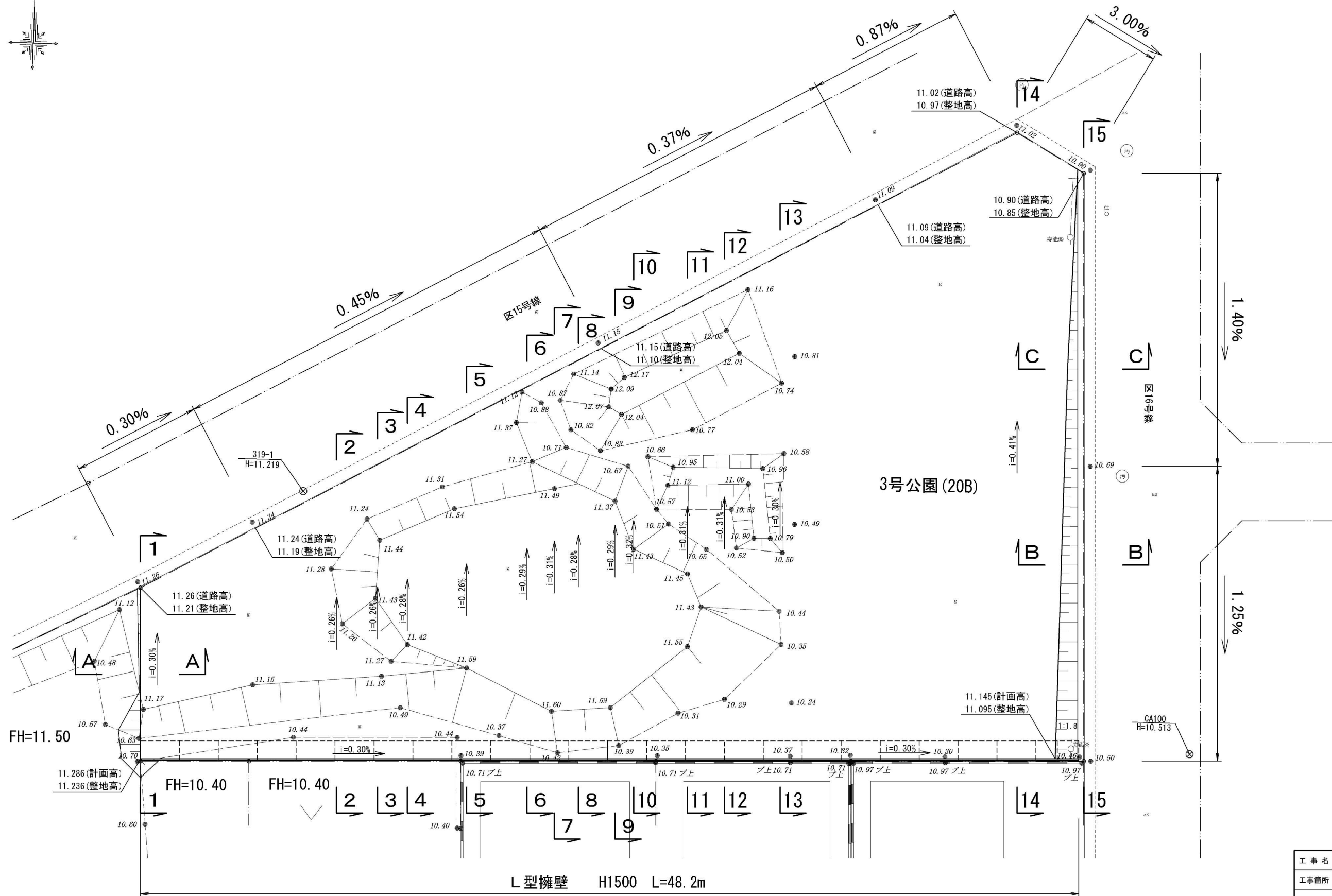
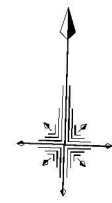


擁壁展開図 V=1:25 H=1:50



工事名	土呂農住特定土地区画整理事業 15-2街区外整地工事		
工事箇所	さいたま市北区土呂町地内外		
図面名	2号公園 擁壁構造図		
縮尺	図示	図面番号	8
さいたま市土呂農住特定土地区画整理組合			

3号公園 造成平面図 S=1:100



工事名	土呂農住特定土地区画整理事業 15-2街区外整地工事		
工事箇所	さいたま市北区土呂町地内外		
図面名	3号公園 造成平面図		
縮尺	1:100	図面番号	9
さいたま市土呂農住特定土地区画整理組合			

◆積算参考資料

本資料は、入札契約過程における積算条件の透明性、客観性及び事務の効率性を確保するため、発注者が用いた積算条件を参考として明示するものであり、さいたま市請負工事契約基準約款第 1 条の設計図書には該当しないものです。

従って、請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成させるための一切の手段について、設計図書に特別な定めがある場合を除き、受注者の責任において定めるものとします。

なお、本資料の有効期限は、当該工事の入札日までとします。

工 事 名：土呂農住特定土地区画整理事業 15-2 街区外整地工事

工事場所：さいたま市北区土呂町地内外

1. 単価

本工事の積算において採用した単価は、別添（登録単価表）のとおり。

2. その他の積算条件

(1) 交通誘導警備員

交通誘導警備員 B については昼間 24 人で算定している。

(2) 産業廃棄物処分

建設発生土の運搬処分については運搬 3.8km で算定している。

